

## 平成24年度行財政改革の主な取組み

※「その他」は行革行動計画に位置付けられていないもの、【再掲】は第1回会議資料に掲載したもの

### 大柱1 市民の視点に立ったサービスの追求

#### 1 行動計画

##### (1) コンビニエンスストアでの市税納付

- ・25年度から国保税も納付可能に

市税は24年度より納付可能。H24年4月～12月の実績635,175,862円（38,172件）

##### (2) タウンミーティング

- ・「地域のまちづくりと協働」をテーマに市内5ヶ所にて開催。参加者154人

##### (3) フィルムコミッション

- ・ホームページ等を通じてフィルムコミッション事業をPR

- ・24年度市内での撮影件数15件（日本テレビ「ぶらり途中下車の旅」、CMなど）

#### 2 その他

##### (1) ふわっぴーの活用による地域活性化

- ・市制施行40周年を記念し、マスコットキャラクター「ふわっぴー」を作成

- ・24年度出動回数35回（小原選手金メダルを祝う会などの市内各種イベント、ゆるキャラさみっとin羽生 など）

##### (2) ふるさとハローワークの開設【再掲】

- ・鶴瀬駅西口のサンライトホールに25年1月開設

- ・相談員3人、検索機5台を配置、平日午前9時～午後5時まで開所

- ・2月末までで、相談窓口を延べ1,455人（うち富士見市民811人）、検索機を延べ2,116人が利用

##### (3) ふじみ野出張所等公共施設の整備検討【再掲】

- ・ふじみ野出張所を移転し、出張所を中核とした多機能複合施設として25年度設計、26年度建設、27年度開所予定

### 大柱2 仕事の仕組みと進め方の改革

#### 1 行動計画

##### (1) 事務決裁規程の見直し

- ・下位職層への権限移譲

- ・契約事務にかかるチェック体制の強化（組織改正を行い、管財課と契約検査課【新設】に業務を整理）

##### (2) 平成24年度事務事業評価の反映

- ・屋外広告物簡易除却事業について、委託業者をシルバー人材センターへ変更することにより、25年度予算で58万円の減

#### 2 その他

##### (1) PPS（特定規模電気事業者）の導入による電気料金の削減

- ・市全体で37の公共施設にPPSを導入。1,240万円/年の減の見込み

## 大柱3 自律性の高い財政運営の確立

### 1 行動計画

#### (1) 債権管理マニュアルの作成

- ・市税以外の、負担金、使用料、手数料などについて滞納処分の方法等を標準化した「債権管理マニュアル」を作成

#### (2) 長期借入金残高の縮減

- ・24年度末：373億2,251万5千円→25年度末：372億1,103万2千円

△1億1,148万3千円

#### (3) 自主財源の確保

##### ①インターネットオークションの活用

- ・インターネット公有財産売却 87万4,694円

(公用車5台合計797,100円、カメラ4台74,794円、事務用椅子4脚2,800円)

##### ②市封筒広告料収入 44万円(見込み)

- ・普通の封筒(定型封筒) 10万枚 10万円/枠 縦4.5cm×横9cm

- ・大きい封筒(A4サイズが入る) 3万枚 6万円/枠 縦8cm×横10cm

##### ③総合的窓口モニター広告掲載料 96万円(見込み)【再掲】

- ・広告代理店と協定を結び、市役所内に企業広告の大型モニターを設置

##### ④市ホームページバナー広告掲載料 270万円

- ・トップページ：20,000円/月、分野別目次ページ：10,000円/月

#### (4) 山室勝瀬の進捗【再掲】

- ・現在、造成工事中(平成27年春開業予定)。建築計画(事業者作成)の修正作業にあたり、25年3月、市、事業者、市民との意見交換会開催

### 2 その他

#### (1) 公共施設への飲料水自動販売機設置貸付料

- ・公共施設への飲料水自動販売機の設置者を入札により決定(南畑公民館、水谷公民館、ふじみ野交流センター、針ヶ谷コミセン、中央図書館、水子貝塚公園)

- ・119万2,126円(24年度途中からの見込み)、年間ベースで364万6千円の歳入

#### (2) 普通財産の売却

- ・旧上沢小学校跡地売却(32区画のうち17区画) 3億9,347万2,490円【再掲】

- ・鶴馬1丁目市有地売却(3区画すべて) 5,328万円【再掲】

#### (3) 水子貝塚東地区の区画整理【再掲】

- ・土地区画整理組合による小規模土地区画整理事業の推進

## 大柱4 人づくりと職場環境の活性化

### 1 行動計画

#### (1) 定員適正化の推進

H24.4：572人 → H25.4見込：562人(H25.1月時点)